



SEAMAIL

Newsletter from Software Engineers Association

Vol. 15, Number **6-7-8** September, 2007

目次

Post Proceedings of IWFST2006 in 北京

編集前記		1
Workshp Program		2
Industrial Perspective of Product-Line	Kyochul KANG	3
Culture, Organization, Science, and Engineering	Akira KUMAGAI	8
Agent Grid Intelligent Platform	Zhongzhi SHI	26
Proof of Correctness of the Mondex Electronic Purse	Chris GEORGE	68
Shape and Modeling	Masao ITO	95
R&D on Pen-based User Interface	Feng TIAN	104
Evolution Process of Open Source Software	Kouichi KISHIDA	117
Self-Adaptive/Managed Software	Sooyong PARK	137
Synthesis and Verification of Safety-Critical Code with NuSCR	Sungdeok CHA	152
Some Fundamental Issues in Model Driven Software Development	Yucong DUAN	169
Software Process for Very Small Organization	Hyuksoo HAN	188
Internet Security: Current and Future	Hideo NAKANO	196
Training Program of Advanced IT Specialists in Japanese Universities	Keijiro ARAKI	206
北京の秋	熊谷章	215

ソフトウェア技術者協会

Software Engineers Association

ソフトウェア技術者協会(SEA)は、ソフトウェアハウス、コンピュータメーカ、計算センタ、エンドユーザ、大学、研究所など、それぞれ異なった環境に置かれているソフトウェア技術者または研究者が、そうした社会組織の壁を越えて、各自の経験や技術を自由に交流しあうための「場」として、1985年12月に設立されました。

その主な活動は、機関誌 SEAMAIL の発行、支部および研究分科会の運営、セミナー/ワークショップ/シンポジウムなどのイベントの開催、および内外の関係諸団体との交流です。発足当初約200人にすぎなかった会員数もその後増加し、現在、北は北海道から南は沖縄まで、300余名を越えるメンバーを擁するにいたりました。法人賛助会員も15社を数えます。支部は、東京以外に、関西、横浜、名古屋、九州、広島、東北の各地区で設立されており、その他の地域でも設立準備をしています。分科会は、東京、関西、名古屋で、それぞれいくつかが活動しており、その他の支部でも、月例会やフォーラムが定期的に開催されています。

「現在のソフトウェア界における最大の課題は、技術移転の促進である」といわれています。これまでわが国には、そのための適切な社会的メカニズムが欠けていたように思われます。SEAは、そうした欠落を補うべく、これからますます活発な活動を展開して行きたいと考えています。いままで日本にはなかったこの新しいプロフェッショナル・ソサイエティの発展のために、ぜひとも、あなたのお力を貸してください。

代表幹事： 田中一夫

常任幹事： 荒木啓二郎 熊谷章 高橋光裕 中野秀男

幹事： 石川雅彦 落水浩一郎 窪田芳夫 蔵川圭 小林修 小林允 近藤康二
桜井麻里 酒匂寛 塩谷和範 篠崎直二郎 新谷勝利 新森昭宏 杉田義明
鈴木裕信 玉井哲雄 中來田秀樹 奈良隆正 野中哲 野村行憲 野呂昌満
端山毅 平尾一浩 藤野誠治 松原友夫 渡邊雄一

事務局長： 岸田孝一

会計監事： 吉村成弘 橋本勝

分科会世話人 環境分科会(SIGENV)：塩谷和範 田中慎一郎 渡邊雄一
教育分科会(SIGEDU)：君島浩 篠崎直二郎 杉田義明 米島博司 森泉清
ネットワーク分科会(SIGNET)：人見庸 松本理恵
プロセス分科会(SEA-SPIN)：伊藤昌夫 塩谷和範 新谷勝利 高橋光裕 田中一夫 端山毅 藤野誠治
フォーマルメソッド分科会(SIGFM)：荒木啓二郎 伊藤昌夫 熊谷章 佐原伸 張漢明 山崎利治
オープンソース分科会(SIGOSS)：石川雅彦 岸田孝一 杉田義明 鈴木裕信 中野秀男

支部世話人 関西支部：小林修 中野秀男 横山博司
横浜支部：野中哲 藤野見延 北條正顕
名古屋支部：石川雅彦 角谷裕司 野呂昌満
九州支部：荒木啓二郎 武田淳男 平尾一浩
広島支部：佐藤康臣 谷純一郎
東北支部：布川博士 野村行憲

賛助会員会社：SRA PFU オムロンソフトウェア キヤノン 新日鉄ソリューションズ ダイキン工業
オムロン 富士電機リテイルシステムズ NTTデータ ヤマハ オープンテクノロジーズ SRA西日本
SRA東北 エフビクス 電盛社
(以上15社)

SEAMAIL Vol. 15, No. 6-8 2007年9月1日発行 編集人 岸田孝一
発行人 ソフトウェア技術者協会(SEA)
〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12 丸正ビル5F
T: 03-3356-1077 F: 03-3356-1072 E-mail: sea@sea.or.jp URL: http://www.sea.jp/
印刷所 市田印刷株式会社 〒114-0014 東京都北区田端2-3-25
定価 1,500円 (禁無断転載)

編集前記

☆

船便の遅れを取り戻すべく、昨年秋以降に行われたさまざまなイベントの記録をこれから順次まとめて行くつもりです。

☆☆

その第1弾として、昨年秋到北京で開催された IWFST2006 の Post Workshop Proceedings をお届けします。

☆☆☆

1987年以降毎年中国での開催を続けて来たこの国際会議は、ICSE の Pre-event として行われた一昨年の会議から、SS に先駆けて運営方式を Workshop 形式に変更しました。

☆☆☆☆

昨年は5月に ICSE in 上海があった関係で、企画準備の時間が足りず、少人数の Key Person を招待するという形での開催になりました。結果として、かなり中身の濃い多角的な討論が行えたと考えています。詳しくは Proceedings を御覧ください。

☆☆☆☆☆

Local Arrangement は ASTI 北京の Yuqing GU 先生にお願いし、中国科学院の Zhongzhi SHI 先生のご厚意で、新装なった科学院計算機研究所の会議室をワークショップ会場として提供していただきました。

☆☆☆☆☆☆

次号は昨年11月の SEA Forum の記録をまとめる予定です。

☆☆☆☆☆☆☆

IWFST 2006 Program
Oct.24-25 @ Chinese Academy of Sciences, Beijing

- October 23(Mon) 19:00 - : Welcome Reception @ Ease Hotel
- October 24(Tue) 09:00 - 09:30 Opening
- 09:30 - 12:30 Session-1A (3 speakers)
- Kyochul KANG (Postech, Korea)
Industrial Perspective of Product-Line
- Akira KUMAGAI (Tao Bears Lab, Japan)
Culture, Organization, Science, and Engineering
- Zhongzhi SHI (ICT-CAS, China)
Agent Grid Intelligent Platform
- 12:30 - 13:30 Lunch
- 13:30 - 17:30 Session-1B (4 speakers)
- Chris GEORGE (UNU-IIST, Macao)
Proof of Correctness of the Mondex Electronic Purse
- Masao ITO (Nil Softwate, Japan)
Shape and Modeling
- Feng TIAN (IS-CAS, China)
R&D on Pen-based User Interface
- Kouichi KISHIDA (SRA-KTL, Japan)
Evolution Process of Open Source Software
- 18:00 - 20:00 Working Dinner (Planning of next year's workshop)
- October 25(Wed) 09:30 - 12:30 Session-2A (3 speakers)
- Sooyong PARK (Sogang Univ, Korea)
Self-Adaptive/Managed Software
- Sungdeok CHA (KAIST, Korea)
Synthesis and Verification of Safety-Critical Code with NuSCR
- Yucong DUAN (Tsinghua Univ, China)
Some Fundamental Issues in Model Driven Software Development
- 12:30 - 13:30 Lunch
- 13:30 - 16:30 Session-2B (4 speakers)
- Hyuksoo HAN (Sangmyng Univ, Korea)
Software Process for Very Small Organization
- Hideo NAKANO (Osaka City Univ, Japan)
Internet Security: Current and Future
- Keiji ARAKI (Kyushu Univ, Japan)
Training Program of Advanced IT Specialists in Japanese Universities
- 16:30 - 17:30 Closing Session
- 18:00 - 20:00 Farewell dinner



ソフトウェア技術者協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12 丸正ビル5F

Tel:03-3356-1077 Fax:03-3356-1072

E-mail:sea@sea.or.jp

URL:<http://www.sea.jp/>